

V施工(14. 木工事) ②木工事

- 木工事において、造作材の工事現場搬入時の含水率は、重量比で18%以下とした。
- 木工事において、構造用ボルトには、M12以上のものを用いた。
- 木造3階建住宅で耐震性を考慮し、土台を介して柱と基礎を緊結するためにホールダウン金物を用いた。
- 木造軸組工法での土台木材は、耐腐朽性・耐蟻性に優れるひのき、べいひ、ひば、くり、けやきなどを製材とする。
- 木工事において、大引の継手は、束心から150mm程度持ち出した位置で、腰掛けあり継ぎ、釘2本打ちとした。

